

## ジンコソーラー製PERC単結晶モジュールがJET認証を獲得

2017年5月2日

太陽光パネルのトップメーカーであるジンコソーラー（JinkoSolar Holding Co., Ltd.、NYSE: JKS）は5月2日、JET中国の試験機関であるIntertek（インターテック）上海太陽光実験室でIEC標準規格の3倍に相当する耐久テストを実施し、自社製のPERC単結晶モジュールが出力減衰の標準規格に合格してテストを通過、JET認証とIntertekの認証を同時に獲得したと報告した。

JET認証は、一般財団法人電気安全環境研究所(JET)が定めた太陽光パネルの性能や信頼性、安全性の認証試験基準に適合していることを示す。この認証に合格している太陽電池モジュールは、JETが定めた性能や信頼性、安全性が確保されていることが保証されるため、ユーザーに対する一つの指標となっている。

Intertekは、世界中で幅広い産業分野の品質を支えるリーディングカンパニーで、審査、検査、試験、トレーニング、アドバイザリー、品質保証、認証業務を通じて、あらゆるお客様の製品やプロセス、資産に付加価値を提供し、また、1,000ヶ所を超える試験所やオフィス、100ヶ国以上で勤務するスタッフ38,000人のネットワークを生かしている。

現在、業界の環境テスト標準は太陽光発電モジュールが極端な環境に取り付けられた場合のストレスを十分に考慮できていないと、ジンコソーラーは認識している。例えば、熱帯雨林気候に設置したモジュールが受けるストレスは、1000時間の高温高湿でのテスト条件よりさらに厳しい。また、200回の低高温循環試験によるモジュール内部のストレスは、極端な設置環境におけるストレスほど厳しくない。

ジンコソーラーは、太陽光発電モジュールの環境ストレスにおけるモジュールの出力減衰について、十分な研究を行っていた。そして、Intertekも専門的優位性を活用し、テストと認証を検討する過程で大量のデータ蓄積と分析を行っていた。そこで、高効率な環境テスト標準が公表されていない中、ジンコソーラーとIntertekは共同で今回のテスト基準を策定。テストには、主に600回の低高温循環試験、3000時間に及ぶ高温高湿テスト、IEC標準規格の3倍に相当する耐久テスト及び端子強度試験、機械的負荷試験などが含まれている。ジンコソーラー製のPERC単結晶モジュールは、今回のテストで素晴らしい性能を発揮した。

「ジンコソーラーは世界をリードする太陽光発電企業として、お客様に高効率、高品質の製品を提供することに取り組んでいます。この度、このように厳しいテストを通過できた理由は、弊社がずっと太陽光発電製品の品質を重視していることにあると考えています。新製品がJET認証を取得できたことは、日本市場に深耕している弊社にとって、非常に重要なことです。これからも引き続き、日本と世界中のお客様に対して、より信頼性が高く、高効率のモジュールを提供していきます。」とジンコソーラージャパン社長Vicky孫はコメントしている。